

安心して医療を受けられる環境を

日立総合病院に心臓血管低侵襲治療チームが発足しました



日立総合病院は、「心臓血管低侵襲治療チーム」を発足しました。このチームは、小さな切開で行うことで身体への負担が少ない「低侵襲治療」をさらに充実させるため、心臓血管外科と循環器内科の専門医が連携し、一人ひとりに最適な治療法を提供します。同チームの医師、佐藤真剛さんは「地域の方が安心して治療を受けられるよう、今後も質の高い医療の提供に努めたい」と話しました。

芥川龍之介賞を受賞

作家・松永 K 三蔵さんが表敬訪問



2月20日、作家の松永 K 三蔵さんが市役所を訪れ、「バリ山行」での第171回芥川龍之介賞受賞を市長に報告しました。2歳頃まで母の実家のある市内で過ごし、その後も夏休みには毎年市内に帰省するなど、本市と関わりも深い松永さん。「毎年、久慈浜海水浴場で遊んだことが思い出深い。自分のルーツでもある日立市を舞台にした作品にも挑戦したい」と今後の創作への意気込みを語りました。

29年の現役生活に終止符

水戸 HH・本間幸司さんが表敬訪問



2月19日、フットボールクラブ水戸ホーリーホックの本間幸司さんが市役所を訪れ、昨シーズン限りでの現役引退を市長に報告しました。多賀中出身の本間さんは1999年に水戸ホーリーホックに加入し、ゴールキーパーとして26年間プレー。J2リーグ577試合出場は史上最多となっています。現役生活を終えて本間さんは「同じチームでこれだけ長くプレーできたことが誇り。これからはクラブスタッフとして地域に貢献していきたい」と語りました。

学生プロジェクト成果発表会



学生プロジェクトは、本市と茨城キリスト教大学との連携事業の一環として、茨城キリスト教大学の学生たちが、まちづくりなどをテーマに調査・研究に取り組み、その成果を発表するものです。

2月22日に茨城キリスト教大学で行われた成果発表会では、学生3グループが発表。それぞれのグループの代表者が登壇し、自分たちで設定したテーマで市政への提案、質疑応答が行われました。

また、発表後には、市の関係部署から提案内容について、現状や実現の可能性に関するコメントがありました。

若者に向けた日立ガストロノミープロジェクト

若年層をターゲットとした食と文化に着目したツーリズムの提案及び効果的な広報

学生リーダー 関口 絢斗 さん

プロジェクトを通じて、今まで知らなかった日立市の特産品などを知ることができました。魅力溢れる特産品を多くの人に知ってもらいたいと思うとともに、自分自身今まで住んできた日立市の新たな魅力を発見する機会になりました。

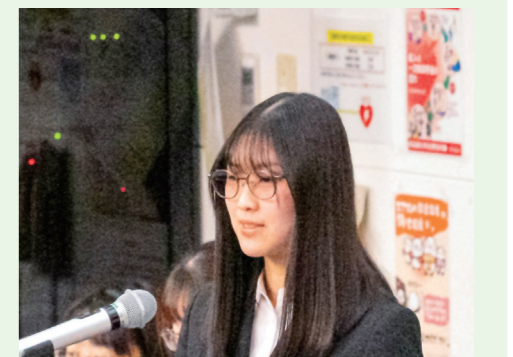


We work in 日立市～年齢、性別などに捉われない働き方～

市内の就労状況や中小企業の雇用状況を踏まえた年齢や性別に捉われない働き方等

学生リーダー 針 茉衣菜 さん

この度は貴重な機会をいただき、ありがとうございました。学生プロジェクトを通じて、多くの学びを得ました。私たちが示した提言が、日立市がより働きやすく、そして生きやすい地域へとつながる一歩になれば嬉しいです。



日立市のケアラー支援についての提案

ダブルケアやヤングケアラーなどの家族を支えるケアラーへの支援策

学生リーダー 草野 叶有 さん

ケアラー支援には、公的なサービスだけに頼らず、住民同士で支え合うことも必要であるという気づきを得られました。当日は、元ケアラーの方から体験談に基づく感想をいただけるなど、学生である私たちがこのテーマで活動したことに大きな意味があると考えています。



**行政問題を身近に
行政相談委員による出前教室を開催**



2月18日、明秀日立高で行政相談委員による出前教室が開催されました。行政相談委員は、市民の方から行政に対する相談や苦情を受け、相談者への助言や行政への改善の提案などを行っています。この日は、黒澤誠一委員ほか3人の行政相談委員が同高一年生約200人を対象に、実際の相談事例を紹介しながら委員の役割などをわかりやすく解説しました。

**日立市のスポーツ発展に貢献
市スポーツ協会スポーツ表彰式**



2月22日、池の川さくらアリーナで市スポーツ協会によるスポーツ賞の表彰式が行われました。今年は、長年地域のスポーツ発展に貢献した方に送られるスポーツ功労賞14人など、総勢357の方に表彰が行われました。また、昨年現役を引退した水戸ホーリーホックの本間幸司さん、全国大会で優秀選手となるなどの活躍をした明秀日立高サッカー部の菅野一葵さんが特別賞を受賞しました。

**今冬の闘いを報告
明秀日立高サッカー一部が表敬訪問**



2月19日、第103回全国高校サッカー選手権大会で同高最高位に並ぶベスト8の成績を取った明秀日立高サッカー一部が市役所を訪れ、市長に大会の結果を報告しました。同サッカー部監督の萬場 努さんは「大会結果も大事だが、この経験を今後の人生にいかしていってほしい」と大会を振り返りました。今後の明秀日立高サッカー部のさらなる活躍が期待されます。

**スポーツを通じたまちづくり
市スポーツ協会と水戸 HH が協定を締結**



2月19日、市スポーツ協会とフットボールクラブ水戸ホーリーホックによる包括連携協定の締結式が市役所で行われました。同協会として初めてとなるこの包括連携協定は、スポーツを通じて健康で明るく活力ある市民生活・地域社会づくりを目指すものです。締結後、同クラブ代表取締役社長の小島 耕さんは「日立市のみなさんが、スポーツを通して、豊かな生活を送れるよう取り組んでいきたい」と話しました。

**人命救助に貢献
消防活動協力者に感謝状を贈呈**



3月2日、消防本部は、人命救助活動に協力した石井麻子さん、前野 豊さん、西岡吉久さん、西山伴さん、鬼澤和弘さん、三浦淳一さんに感謝状を贈呈しました。6人は、1月12日にグラウンドで心肺停止となった傷病者に対し、協力して、迅速な通報とAEDを活用した心肺蘇生を実施。心拍が再開した状態で救急隊に引継ぎました。前野さんは、「事前に救命講習を受講していたことがいかせました」と語りました。

**日立のシンボルを語り継ぐ
大煙突フェスティバルが開催**



2月23日、日立武道館周辺で大煙突フェスティバルが開催されました。今年で3回目となる本イベントでは、新たに発行された絵本「大煙突とさくらのまち」の市への贈呈式を始め、日立鉱山や大煙突の歴史に関する紙芝居劇やパネル展示が行われたほか、手作りの「鉱山電車」が人力で運行されるなど、歴史を学びながら楽しめるさまざまな催しが行われました。天候にも恵まれ、多くの人々ににぎわいを見せていました。

**全国大会で飛躍を誓う
明信館スポ少・師岡さんが表敬訪問**



2月17日、明信館剣道スポーツ少年団の師岡老太さん（日立市出身）が市役所を訪れ、教育長に全国大会への出場を報告しました。父や姉の影響で小学2年生から剣道を始めた師岡さんは、昨年12月に行われた県大会で見事準優勝。3月28日から30日に大分県で行われる全国大会への出場を決めました。師岡さんは、「攻めの剣道が得意。自分の剣道をしっかり出して、全国優勝を目指したい」と力強く語りました。

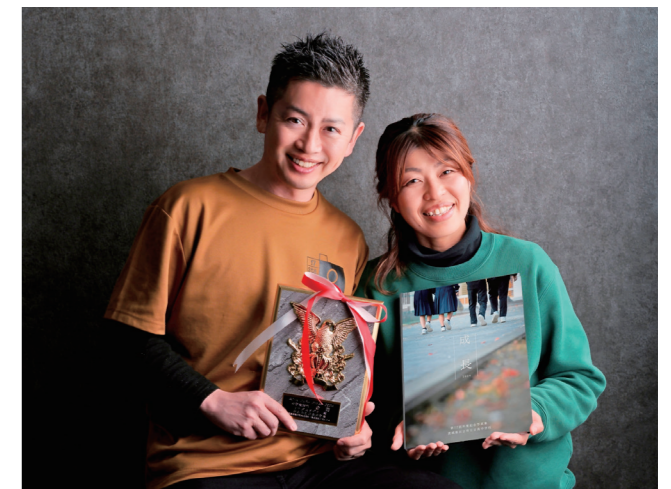
**いつまでも健康で
ひたち元気アップ賞・6424 よい歯のコンクール表彰式**



2月20日、ひたち元気アップ賞と日立市6424よい歯のコンクールの合同表彰式が開催されました。元気アップ賞の最優秀賞に輝いた堂平健康ラジオ体操の会代表の六車正道さんは「ラジオ体操だけではなく、毎日みんなで会話を楽しむことも大事」と健康の秘訣を語りました。

賞	受賞者
ひたち元気アップ賞 最優秀賞	日高シルバーリハビリ体操教室 堂平健康ラジオ体操の会
6424 よい歯のコンクール 市長賞	平澤 悦子
日立歯科医師会会長賞	小又 孝正

**子どもたちの思い出を形に
イナダスタジオが全国大会金賞**



2月10日、「スクールアルバムコンテスト2024」（安達写真印刷主催）の中学生部門で金賞を受賞したイナダスタジオの稲田佑樹さんと路子さんが市役所を訪れ、受賞を報告しました。このコンテストは、全国の優れたアルバム作品を選ぶもので、昨年度制作した日高卒業アルバムが受賞しました。佑樹さんは「これからも、生徒のみなさんの宝物になる卒業アルバムを作り続けていきたい」と語りました。